

教育委員会 9月報告

令和6年10月1日

こども園、小・中学校にて2学期始業式 挙行

令和6年9月2日(月) こども園、小・中学校にて2学期の始業式が行われた。小学校では全校児童が体育館に集まり、プロジェクタの映像を見ながら校長先生の話を聞くことができた。校長先生は、夏休み明けに、みんなの元気な姿が見られてホッとしていることや、2学期に頑張っていきたいことについて話をされた。また、各教室では久しぶりの友人たちとの再会に、大いに賑わいを見せており、学級ごとに夏休みの宿題を提出したり、夏休み中の出来事について発表し合ったりしていた。夏季休業中は、こども園、小・中学校の園児・児童生徒に大きな事故やけがはなく、元気に過ごすことができた。



小学校で観劇会を実施

令和6年9月5日(木)、劇団そらのゆめによる、ミュージカル“ジャックと豆の木”の鑑賞を行った。会にはこども園の5歳児の皆さんも参加した。ドキドキハラハラの冒険ストーリーで、カラフルな舞台や衣装、現代風のアレンジ、客席も巻き込んだ演出等で、アッという間にエンディングを迎えた。泣き笑いのミュージカルであったが、人としての生き方についてのメッセージが心に響いた。演者の方から、スカウトをされている児童もあり、楽しい時間を過ごすことができた。



読み聞かせ講演会「親子で楽しむ 絵本・物語の世界」実施

令和6年9月7日(土) 木曽岬小学校ふれあいホールにて、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいる「夢に向かってがんばる木曽岬っ子応援キャンペーン」の一環として、木曽岬町青少年育成町民会議が主催となり読み聞かせ講演会を開催した。当日は、本年度こども園と小学校で読み聞かせの実践をしていただいている小幡章子先生を講師にお迎えして、子どもたちの読書習慣の定着に視点をあてた「読み聞かせの実演」と「ミニ講座」を行ない、63名の方に参加いただいた。参加者からも大変好評で、小幡先生の優しい語り口が心地よく、子どもも大人も素敵な時間を持つことができた。また、後半のミニ講座では、「力のある絵本の選び方」や「絵本から物語への橋渡し」についてお話しいただいた。子どもたちが、感情移入して主人公の人生を間接体験するなど、読書の本当の喜びを味わうために、低学年のうちは、大人が絵のない物語を読み聞かせることが、「絵本から物語への橋渡し」になるという話が印象的だった。



令和6年度 北勢スポーツ推進委員協議会研究大会開催

令和6年9月8日（日） 9時30分から市民ホールにおいて、北勢スポーツ推進委員協議会研究大会を開催した。これは、本町を含む北勢地域10市町のスポーツ推進委員とその事務局で構成され、各市町が輪番で開催している。開会行事ではスポーツ推進委員として生涯スポーツの普及・振興に尽力された11名が表彰され、本町からは委員として9年目を迎えた橋本直美委員が表彰された。また研究発表では、本町の石黒しのぶ委員と橋本直美委員が活動報告を行い、春のさくらウォークや2～3年ごとに新体力テストを実施していることのほか、毎月軽スポーツ教室を実施していることなどを紹介した。その後の講演では、本町出身で2021年レスリング世界選手権準優勝の花井瑛絵さん（県立朝明高等学校講師）を講師に招き、「今とこれからの自分をみつめる」をテーマにレスリングとの向きあい方や指導者として意識していることなどを講演していただいた。



小学3年生によるどでかぼちゃの観察記録の発表 ～「オータムフェスタ2024」にて～

令和6年9月8日（日） 役場前で開催された「オータムフェスタ 2024」にて、小学校3年生が「どでかぼちゃ」の観察記録の発表を行った。4月から「木曽岬子ども未来塾」の体験活動の一環で、「どでかぼちゃ愛好会」のみなさんの指導を受けながら、みんなでどでかぼちゃ作りに挑戦してきた。子どもたちにとっては初めての経験ばかりで、長期間の栽培に苦戦したところもあったが、愛好会の皆さんの丁寧なご指導により、大きなかぼちゃを育て上げることができた。

当日は、絵を披露したりクイズを交えたりしながら、わかりやすく発表する子どもたちの姿が見られ、来場者から大きな拍手をいただいた。子どもたちが栽培したかぼちゃの重量は、149 kgと 158 kg であった。



町長杯ソフトボール大会 ⇒ 中止

令和6年9月8日（日）に実施予定の「町長杯ソフトボール大会」は、都合により中止となった。

木曽岬中学校 授業公開週間及び文化展示

令和6年9月17日（火）～20日（金）の4日間、保護者を対象に授業公開と文化展示を行った。中学校では、保護者対象の授業公開が年間2回（6月・9月）計画されており今回は、国語や英語、美術、家庭などの授業で作成した作品や美術ボランティア部の作品などの展示も行い、生徒一人一人の頑張りを参観いただくことができた。（写真は美術ボランティア部の作品）

また、期間中は、県教育委員会や町教育委員会の指導主事も授業を参観し、教員の授業力向上に向け指導助言を行った。



小学5年生の稲刈り体験 秋の収穫

令和6年9月17日（火）に、地域の農家の方を講師にお招きし、小学5年生が稲刈り体験を行った。5月16日に子ども達が泥まみれになりながら植えた苗が実りの秋を迎え、収穫の運びとなった。

この取り組みも、木曽岬子ども未来塾の体験活動の一環で、地域の農家の方に田植えから稲刈りまで継続的に指導の協力をしていただいている。児童は、稲作体験を通じて米作りの大変さや、収穫の喜びを体験することができ、郷土の基幹産業の一つである米づくりへの理解を深めることにつなげることができた。なお、収穫したお米は後日、美味しくいただく予定である。



令和6年度 図書館運営協議会 開催

令和6年9月26日（木）9時45分から役場4階防災多目的室で開催した。令和5年度の図書館の利用状況のほか、本年4月に始まった「ふるさとブックオフ」の取り組みや図書館イベントの実施状況などを報告した。また、蓋付き飲料の解禁についても協議し、本年6月から図書館がクーリングシエルターに指定されたことから熱中症対策として飲料を飲む合理的理由があること、また県内の他館の解禁状況も踏まえ解禁することが提言された。事項は以下の通り。

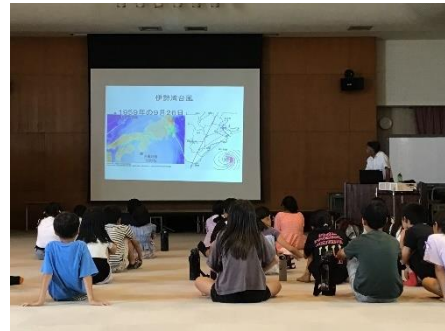
【事項】

- ・委員の委嘱について
- ・正副委員長の選任について
- ・令和5年度町立図書館の利用状況について
- ・令和5年度図書館アンケートの結果について
- ・ふるさとブックオフの取り組みについて
- ・令和6年度図書館イベントについて
- ・蓋付き飲み物の解禁について
- ・図書館の利用促進についての意見



「伊勢湾台風から学ぶ」授業の実施

令和6年9月26日（木）木曽岬小学校ふれあいホールで、小学4年生を対象に、「伊勢湾台風から学ぶ」授業を行った。当日は、町内在住の大橋光則さんを講師にお招きし、スライドを交えながら伊勢湾台風の被害状況や、ご自身の体験談をお話いただいた。大橋さんは、当時何人もの同級生が命を落とし大変辛かったことや、避難生活の中でとても寂しい思いをしたこと、そして辛い中でも、仲間と力を合わせて乗り越えてきたことなどをお話いただいた。



また、災害はいつ来るかわからないが、もし来たら、①自分の命は自分で守ること、②人命救助を行うこと、③被災者に気力を与える救助に協力することの3つのことを大切にして欲しいとお話された。教育委員会では、今後も、「伊勢湾台風から学ぶ」授業を継続して行い、子どもたちの防災意識や郷土への愛着心を高めていくことをめざしていきたいと考える。

第26回ファミリーグラウンドゴルフ大会 開催

令和6年9月29日（日）木曽川グラウンドを会場に体育協会・スポーツ推進委員会の主催による“ファミリーグラウンドゴルフ大会”が開催され、一般の部37名とジュニアの部4名の計41名が参加した。荒天により1週間延期しての開催となったが、当日は、子どもから高齢者まで幅広い世代が気軽に参加できる種目ということもあり、親子やご近所同士での参加が多く、秋空の下、あちこちで笑い声が聞こえる和気あいあいとした雰囲気の大会となった。



英語検定(準会場)の実施について

令和6年9月29日（日）に木曽岬中学校で英語検定を実施した。木曽岬町では、中学校卒業時に英検3級程度の英語力を習得することを目標に英語教育を進めており、当日は、28名の中学生が2級から5級の検定に挑戦した。生徒たちの、真剣に英語に取り組む姿が見られた。

